

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

落合町・追分の道しるべ



真庭郡落合町上河内追分にある。建立は文久3年（1863）。

国道181号線を津山方面から西へ、JR姫新線を左に見ながら進むと追分の峠に差しかかる。峠を越えると久世、勝山へ。さらに北西に進めば美甘、新庄とかつて宿駅の置かれた町をたどる出雲往来の旅となる。西南へ県道垂水追分分線を進めば落合に出る。この分岐点に六角柱の道標はある。

六面には「西 出雲大社江三十七里」「伯州大仙江拾七里」「伊勢大神宮江八十五里」「東 木山宮従是左江三里五ヶ村日詣」「讃州金毘羅江三十三里」「能勢妙見江四十五里坪井宿」と記してある。

西からはこんぴら参り、お伊勢参りに、備前・備中からは大山寺への牛馬市通い、近郷の村々からは畜産の神、木山宮への参詣に訪れる人々をこの道標が迎えた。

六角柱のそばにもう一つ小さな道標がある。建立は元禄年間にされたもので、六角道標と併せて落合町指定の文化財となっている。

【参考文献】

「落合町史 地区誌編」落合町史編集委員会 / 編纂 落合町 1999 「岡山の道しるべ」巖津政右衛門 / 著 日本文教出版（岡山文庫70）1976 「岡山県歴史の道調査報告書第4集 出雲往来」岡山県教育委員会 / 編集・発行 1993



レファレンス事例の蓄積と公開

～郷土に関するレファレンス・データベース構築に向けて～

レファレンス・サービスについて

図書館には、例えば「終戦時の玉音放送の原稿を見たい」「吉備津神社の宮内踊りについて調べたい」といった質問・相談が毎日たくさん寄せられています。図書館員は、これらの質問・相談に対し、求める情報が掲載されている資料を探し出し、質問者に紹介しています。このサービスがレファレンス・サービスです。

当館では、県内の公共図書館と協同で、郷土に関する内容のレファレンス事例を蓄積してデータベース化し、インターネット上で公開しようという試みを始めようとしています。

レファレンス事例蓄積の効果

そもそもレファレンス事例を蓄積すると、どのような効果があるのでしょうか。

まず、利用者の求めに迅速に対応することができるようになります。類似の事例を参考にすることにより、目的の資料を効率的に探し出し、提供することができるようになるのです。また、事例を共有することにより、職員間の知識・経験の較差を多少補うことも可能です。職員の自己研鑽のためのテキストとしても使うことができます。

レファレンス・データベースを県内の公共図書館と協力して構築することによる効果

県内の公共図書館と協力してレファレンス事例を蓄積し、データベース化するにあたっては、事例登録の書式や登録基準など、解決すべき問題は山積です。しかし、各館が相互協力することにより、1つの館で蓄積するよりたくさんの

事例を蓄積することができ、より充実したデータベースとして運用できるでしょう。

また、各図書館にとっては、他館の事例を参考にすることによって、自館資料の充実につなげることができます。

また、図書館によっては、特定の分野・テーマに関する資料を、重点的・網羅的に集めているケースが多々あります。レファレンス・データベースが充実してくると、各館の得意分野がより明確になるため、レファレンス・サービスでの相互協力体制がとりやすくなるでしょう。

レファレンス・データベースを公開することによる効果

構築したレファレンス・データベースは、インターネットで一般に公開する予定です。

このことによって、住民は直接レファレンス・データベースにアクセスすることができるようになるため、関心のある事例を直接検索することによって、調査・研究の参考にすることができます。

また、レファレンス・サービスそのもののPR効果が期待できます。さらに、その波及効果も考えられます。図書館でレファレンス・サービスを行っているという認知が広まれば、住民の図書館利用の促進にもつながるのではないのでしょうか。

当館では、郷土に関する内容のレファレンス事例を蓄積してデータベース化し、公開することについて、以上のような効果を期待しています。

進捗状況及び計画

現在当館及び8つの市町村立図書館の協力を得、データベースのプロトタイプを構築しつつあるところです。まだ問題点の検証という意味も含めての実験であり、データもまだまだ集まっていないので、すぐに公開というわけにはいきません。しかし、モデル的なデータベースができあがればインターネットで公開する予定です。将来的には、県内全ての公共図書館に協力を求め、より充実した郷土に関するレファレンス・データベースの構築を目指したいものです。

(岡山県総合文化センター 普及課 普及係)



おかやま人物往来 ⑥9

みづ のや かつ たか
水谷 勝 隆

水谷勝隆は慶長2年(1597年)に水谷勝俊の嗣子として京に生まれた。慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いの時には勝俊は関東へ下っており、幼い勝隆は石田三成によって人質にされかねない状況にあった。それを近衛龍山(前久)にかくまってもらふことによってまぬがれた。龍山は西軍である島津氏の落ち武者もかくまっており、東軍・西軍に関係なく救済していたのである。

勝隆は慶長6年(1601年)に関東に下り、祖父水谷正村の築いた下野国久下田城へ入る。水谷氏は代々結城家に属していた。徳川家康の子秀康はこの結城家の結城晴朝の養子であった。

父勝俊が慶長11年(1606年)に亡くなったため勝隆は10歳で父の遺領を継ぎ、常陸・下野の両国内において3万2千石を領有し、常陸国下館城に居を移した。慶長13年(1608年)には従五位下伊勢守に叙任された。

勝隆は大坂の役の際、徳川方の酒井家次の組に属して活躍している。勝隆の最初の正室は家次の娘であった。死別してから迎えた正室は寺沢広高の娘であった。寺沢広高の子が堅高で、寛永14年(1637年)の島原の乱の際に天草を領有していたため乱の責任を問われ、天草領4万石を没収された。その後堅高が自害して家名は断絶する。

勝隆は寛永16年(1639年)に転封となり、備中・播磨両国内に5万石を領有して川上郡成羽に入った。成羽川の水路変更と新陣屋の建設を行ったが、わずか3年で再び転封となる。

寛永19年(1642年)に備中国松山城に入り、播磨国内の領地1万石を備中国へ移した。

勝隆は土木事業に堪能な人材を抱えていたらしく、様々な事業を展開した。長尾外新田の開発を手始めに、船穂・玉島・上成・爪崎の新田開発を行った。また、玉島港築港工事や高瀬通しと呼ばれる運河開削を行っている。鉄山の開発にも力を尽くし、製鉄業を盛んにしていった。

勝隆は寛文4年(1664年)の68歳で死に、常陸国下館の定林寺に葬送された。

勝隆の跡を継いだのはその子勝宗で、4万8千石を領有した。勝宗の弟勝能は2千石を受け継いだ。勝能及びその子孫は代々旗本として将軍に仕えていく。

勝宗は父と同じく土木事業や新田開発に力を入れ、松山藩の発展に大いに貢献した。備中松山藩は勝宗の時に新墾田2千石を合わせて再び5万石の石高となる。

【参考文献】

「新訂 寛政重修諸家譜」(続群書類従完成会 S40)

「成羽町史 通史編」(H8) 「高梁市史」(S54)



水谷勝隆 勝美の五輪塔がある
玉叟山 定林寺



黄薇中州地理図
岡山県歴史文化センター画像提供(メタボ)
水谷伊勢守は水谷勝隆、水谷左京亮は水谷勝宗を指す

うち当館の参考図書 123

「ニッポン人の買い物データブック2002」
(2002.3 生活情報センター)

本書には、官公庁や民間機関によって集められた、衣食住に関わるあらゆる買い物のデータが収録されている。

例えば、総務庁の行う家計調査を見ると、1世帯あたりの1か月の収支やお金の使い道が分かる。平成2年と同12年のデータが併記されており、歴史的な変遷も辿ることができる。

ほかに、日本即席食品工業協会のインスタント

ラーメンの調査を見てみると、購入頻度や購入場所、購入の際に重視する事柄、袋めんの購入状況、カップめんの購入状況、新製品購入のきっかけなどが、年齢・地域別でグラフ化されている。また、リクルートの結婚に関する調査では、新生活で揃える物品のほか、1か月の収支、赤字の月のやりくり方法、小遣いの額、へそくりの総額などが、細かく集計されている。

このようにさまざまな調査結果が収録されており、仕事だけでなく一個人としても、自分の日常に当てはめながら楽しく眺めることができるデータ集となっている。



随想

竹喬美術館開館20周年を迎えて

笠岡市立竹喬美術館主任学芸員 上 蘭 四 郎



竹喬美術館は本年10月1日に開館20周年を迎える。美術館の歴史にとって、十年、二十年という節目自体はそう重要とは思わない。しかし、この20年の歴史をともに歩んだ者として、さまざまに思い出されることもあり、

さらに将来にわたって期するところもある。

竹喬美術館の建設構想は、すでに竹喬が笠岡市名誉市民となった昭和41年頃よりあり、その後の昭和50年頃には推進役の青年会議所によって「市民の誇り 竹喬館を建設しよう」という看板が設置された。具体的には昭和54年5月10日の竹喬死去により動き始めた。竹喬は故郷からの申し出を気にとめ、何点かの作品を買い戻していたが、その意思を継いだ遺族が竹喬作品18点を同年の10月に寄贈した。実際の美術館建設にあたって、名称についての論議がされ、「笠岡市立竹喬美術館」という作家名を冠した館名となった。この決断が今日の状況をもたらす、重要なポイントであったように思える。笠岡市民は竹喬美術館のことをしばしば「竹喬さん」と呼ぶが、その市民の愛着が遺族にとっては、今日にいたるまでたまらない喜びであるようだ。

若干の曲折を経て、美術館は昭和57年10月にオープンした。しかし、館蔵品はこのとき182点に過ぎず、記念館的な美術館としては展示活動に大きな課題を持って出発した。このあとしばらくの間、笠岡市の作品購入意欲を、遺族側が見守る時期があった。笠岡市は少ない予算の中で堅実に作品の購入を進めた。遺族はその都度これに応え、自宅に残る作品を順次寄贈するとともに、鑑定などで持ち込まれた作品のうち

で重要なものは買い戻して笠岡市に提供した。

また、展示活動ということでは、この美術館を小野竹喬のみの常設館とするか、もしくは企画展も行うのかという論議があった。これについても遺族から、「竹喬美術館を無批判に竹喬を顕彰する美術館にしてほしくない。絶えず同時代の歴史の中で比較対照しながら竹喬を捉えてほしい」という要望が寄せられて、これに従ってきた。京都の国画創作協会の画家、岡山の日本画家、さらに東京の院展の画家を関係の深い作家から取り上げてきた。

館蔵品の急速な増加、また、企画展の頻繁な開催は、やがて新たな課題として収蔵庫と展示室の狭さを生んだ。これを解決する新館建設は、早くも開館10年後ぐらいから本格的に論議され、本来であれば平成11年春に完成の運びであった。何事も簡単にはいかないもので、財政状況の悪化の前にあえなく無期凍結という事態にいたった。しかし、笠岡市民の圧倒的な支援のもとに、きわめて短期間に新館建設の方向が出され、まるで夢のように完成して平成13年3月に開館した。

「竹喬先生は幸せな方ですね」という声を竹喬ゆかりの日本画家の遺族からよく聴く。これとともに、「父の作品も竹喬先生と一緒に展示してください」という寄贈の申し出をいただき、今では館蔵品の1,477点のうち、竹喬以外の作品が743点に及んでいる。竹喬を大切にしようとする市民の気持ち、それに応えようとする遺族や行政、この親密な連関が功を奏して今日にいたっている。今後も活動方針は変わらない。ただし、館蔵品はおそらく一段と増えるであろう。次の新館を考える時期もそう遠くないかもしれない。

*** イベント情報 ***

～ 第2回「世界お話の旅」中国編 ～

外国の本にふれながら、国際理解を深めませんか？ 絵本の読み聞かせや、歌やゲームを通して、中国のことをもっと知りましょう。

・開催日時 / 平成14年9月28日(土)
14:00～15:30

・会場 / 岡山県総合文化センター第一会議室
(岡山市天神町)



- ・講師 / 華 信来氏
(岡山県立大学非常勤講師)
- ・内容 / 中国の絵本の読み聞かせ・歌とゲーム
- ・対象 / 幼稚園児・小学生とその保護者
- ・問合せ先 / 岡山県総合文化センター奉仕課
国際資料係 ☎(086)224-1286
- ・その他 / 入場無料。事前申し込み不要。
ただし、駐車場には限りがありますので、公共交通機関を利用してご来場ください。

ギャラリー

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
10/1 } 10/6	公募 第24回 玄画会展覧会(本展) 日本画19点・洋画19点・水墨画55点・工芸17点 玄画会 一般500円、大学生以下・65歳以上・会員 無料		第11回 嘉墨会展 水墨画100点・日本画10点 嘉墨会 入場無料	日本画 朱のグループ有志会展 日本画35点 日本画朱のグループ有志会 入場無料
10/8 } 10/13	第44回 養和書道院展 書200点 (社)養和書道院 入場無料		第42回 西日展(公募) 書300点 (社)養和書道院 入場無料	日本画・水墨画 静流会第25回展 日本画・水墨画45点 日本画・水墨画 静流会 入場無料
10/15 } 10/20	第28回 抱象会書展 書75点 抱象会 入場無料	第11回 白日会岡山支部展 洋画35点・彫刻3点 白日会 岡山支部 入場無料	第18回 岡山県厚生年金受給者協会生かぎ美術展 洋画80点・写真・工芸60点 岡山県厚生年金受給者協会 入場無料	春陽会瀬戸内作家展 洋画・版画30点 春陽会岡山 入場無料
10/22 } 10/27	第55回 水墨画虎杖会展 水墨画90点 水墨画虎杖会 入場無料	第7回 凌尚会書道展 書40点 凌尚会 入場無料	第27回 金光ゆづきフォト集団写真展 写真100点 金光ゆづきフォト集団 入場無料	自詠書展 書45点 岡山県書と歌の会 入場無料
10/29 } 11/3	第39回 墨象会展 書100点 墨象会 入場無料		第38回 岡山彫刻会展 彫刻70点 岡山彫刻会 入場無料	
11/5 } 11/10	第25回 瀬戸内版画展 版画70点 瀬戸内版画会 入場無料	第11回「宙」日本画作品展 日本画35点 「宙」日本画勉強会 入場無料	第18回 梅操展 洋画・書道・染色 他100点 梅操会 入場無料	
11/13 } 11/17	第52回 岡山県勤労者美術展(開会11/13) 日本画82点・洋画223点・書116点・写真200点 (社)岡山県勤労者福祉協議会 入場無料			
11/19 } 11/24	第26回 岡山県高等学校総合文化祭・書道部門 第16回 岡山県高校生書道展覧会 書200点 岡山県高等学校芸術文化連盟・書道部会 岡山県高等学校書道連盟 入場無料	岡山県書道協会展 書60点 岡山県書道協会 入場無料		第20回 ODA展 デザイン50点 岡山デザイナーズ協会 入場無料
11/26 } 12/1	岡山県女流書道展 書120点 岡山県女流書道協会 入場無料	第14回 創彩展 洋画30点・水彩5点 創彩会 入場無料	チャールル会岡山「秋の作品展」 洋画・日本画等160点 チャールル会岡山 入場無料	第30回 土筆会展 日本画45点 土筆会 入場無料

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。
会員……文化センター友の会及び文化振興会会員

ホール(固定席282席)

日 曜	催 物	時 間	料 金	主 催 者
10/4(金)	(第331回 文化センター土曜劇場) 岡山県高等学校演劇協議会公演	13:00~	無 料	岡山県総合文化センター
10/5(土)		9:00~		
10/6(日)		9:00~		
10/12(土)	理大RJB 清心パピルス ジョイント・ライブ	13:00~16:00	500円	岡山理科大学 RJB 清心女子大学 パピルス
10/19(土)	『岡山地方史研究会』100号記念シンポジウム 地域から未来を語る	13:00~	無 料 (資料費500円)	岡山地方史研究会
10/20(日)	ピアノ発表会	未 定	無 料	阿部 裕子 寺崎由美子
10/23(水)	花の銀行頭取会議	10:00~	無 料	岡山県花の中央銀行 岡山県コミュニティ協会
10/26(土)	(第332回 文化センター土曜劇場) CARATプロジェクトカンパニー公演 『あたま山心中~散ル散ル、満チル~』	18:00~20:00	前1,500円/1,000円(大学生以下) 当1,800円/1,200円(大学生以下) 会員・65歳以上・身障者・岡山県芸術祭実行委員会委員 無料	岡山県総合文化センター
10/27(日)		14:00~16:00		
11/9(土)	劇団黒い兎団 第6回公演 『シアター・ハート・アタック』	14:00~	前1,500円/1,300円(学生) 当1,800円/1,500円(学生)	劇 団 黒 い 兎 団
11/10(日)		18:00~		
11/17(日)	第8回 OTSコンサート ~子供のための音楽会~	13:00~	無 料	岡山県小学校音楽教育研究会 OTSシンフォニー
11/23(土)	(第333回 文化センター土曜劇場) 演劇工舎「ゆめ」公演 「ドアをあけると……」 Communicating Doors	13:00~	前:1,300円/当:1,500円 大学生:1,000円/中学生:800円 小学生以下(保護者同伴)・会員・65歳以上・身障者 無料	岡山県総合文化センター
11/24(日)		18:00~		
11/30(土)	(第334回 文化センター土曜劇場) びっくり座ユニークシアター&岡山ろう者劇団『夢ニ』	14:00~	前:1,200円/小中学生:500円 当:1,500円/小中学生:700円	岡山県総合文化センター
12/1(日)		18:00~		
	手話劇「オズの魔法使い」	13:00~	会員 無料	

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。

使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。

平成14年度のホール抽選会は、6/3(12~2月)・9/2(3~5月)・12/2(6~8月)・3/3(9~11月)ですが、抽選済みの期間で空きがあれば随時受け付けています。

使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。

上記の催し物は、8月末現在申し込み済みのものです。

主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

会員……文化センター友の会及び文化振興会会員

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)